

東葛沿線さんぽ

今月の沿線さんぽは、芸術の秋にちなみ、白樺派の拠点として知られる我孫子駅周辺を歩きます。

白樺派といえは国語の授業、国文学の歴史で学びましたが、文学・芸術の分野では、オビエオンリーだっただけのこと。改札を出て右折するとコンコースに開催中・予定のイベントが掲示されて



います。「我孫子動物彫刻展 プリニウスの動物たち」が気になる「南口」への階段を降りると今度是我孫子駅周辺の観光スポットを紹介する看板を発見。しかもそこには「物語の生まれるまち、我孫子」の文字が。今回はどんな物語が生まれるのでしょうか？

所要所に看板があり、交通量も多くない路地なので安心して歩けます。10分ほどで最初の目的地、杉村楚人記念館に到着。手賀沼湖畔近くの傾斜を生かした1500坪もの広大な敷地には大きな木々が茂り、歴史を感じ



我孫子動物彫刻展 島田忠幸「プリニウスの動物たち」の作品

させます。様々な種類の椿や山茶花が多く、10月末から5月頃まで美しい花が楽しめます。しかも！先ほどの動物彫刻展の動物が！市内のいくつかの場所で開催されているようです。

期から昭和前期の東京朝日新聞で活躍したジャーナリスト。国内初の日刊写真誌「アサヒグラフ」の創刊に携わった他、独特の皮肉とユーモアにあふれた随筆は人気を博し、我孫子を全国に知らしめた立役者の一人でもあります。

次は我孫子市白樺文学館へ。企画展「志賀直哉展」が開催されています(11月8日まで)。11月11日から「我孫子の風景展」。志賀直哉展は、作家志賀直哉の子孫である山田家秘蔵の志賀直哉作の

楚人冠は当初、この地に別荘を建てたそうですが、内部を見学できる母屋は、関東大震災後に定住した際に建てたものです。当時のまま保存されているサロンの覗くと無垢板の立派な本棚に圧倒されます。柳宗悦やバーナードリーチが鼻息にしていた我孫子の大工、佐藤蔵蔵氏によるもので、昭和初期の仕立の素晴らしさにも感動します。書齋など令和の現代に見ても素敵で、楚人冠の仕事について思い巡らすだけでなく、建築や内装を見学する楽しみもあります。

油絵など、貴重な資料を展示しています。家族と映る写真などを見ていると、人間志賀直哉が垣間見えるような気がしてきました。我孫子市白樺文学館の近くには志賀直哉邸跡もあります。現存し

ているのは書齋部分です。休憩に立ち寄ったのはブックカフェのノースレイクカフェ&ブックス。独自の視点でセレクトされた国内外の「読みもの」が大きな本棚にぎっしりと並んでいます。私がいただいたハウスブレンドコーヒーはどれも飲みやすく、リフレッシュに最適。店内に流れる音楽も雰囲気たっぷりです。ゆったりした時間が流れています。白樺派の人たちが

もし今の時代に生きていたら、こんな素敵なカフェで店主さんセレクトの本を片手にノートパソコンをカチャカチャさせながら過ごしていたかもしれないと妄想が…。

村楚人冠邸園など9カ所11月19日まで開催。■杉村楚人冠記念館 我孫子市緑2-5-5 ☎04-7182-8578 開館：9時～16時半(入館は16時まで) 月休(祝日の場合は直後の平日)

入館料：大人300円・高大生200円・小中学生100円 ■我孫子市白樺文学館 我孫子市緑2-11-8 ☎04-7185-2192 開館：9時半～16時半

休(祝日の場合は直後の平日) 入館料：一般300円・高大生200円・小中学生以下無料 ■ノースレイクカフェ&ブックス 我孫子市緑2-11-48 ☎04-7199-3251 営業：11時～16時 火金休

た。お薬の中にはオレンジジュースやヨーグルトなどの酸味のあるものと一緒混ぜてしまうと、かえって苦みが増してしまいます。1歳までは粉薬に少量の水を加え、ペースト状にして頬の内側や舌の上に塗る方法がお勧めです。塗り後は口の中に薬が残らないように飲み物を飲ませるようにしましょう。飲みやすいです。お子さんに粉薬の苦手を



天神坂

消化器内科 新東京病院 ホームページ

「粉薬の飲ませ方」

みなさんはお子さん、の粉薬の飲ませ方で困ったことはありませんか？子どもに粉薬が好ましくありません。苦みを感じると飲まなくなってしまう。少し大きくなったお子さんは水で飲むと苦みを感じ、飲めなくなってしまう。そんな時は、お薬の苦手を

ただ、お薬の中にはオレンジジュースやヨーグルトなどの酸味のあるものと一緒混ぜてしまうと、かえって苦みが増してしまいます。1歳までは粉薬に少量の水を加え、ペースト状にして頬の内側や舌の上に塗る方法がお勧めです。塗り後は口の中に薬が残らないように飲み物を飲ませるようにしましょう。飲みやすいです。お子さんに粉薬の苦手を

「粉薬の飲ませ方」

「粉薬の飲ませ方」

「粉薬の飲ませ方」

「粉薬の飲ませ方」

「粉薬の飲ませ方」

「粉薬の飲ませ方」

「粉薬の飲ませ方」

「粉薬の飲ませ方」

「粉薬の飲ませ方」

「粉薬の飲ませ方」

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部

胃がんは日本のがん部